幕末の宇和島が舞台！伊達宗城（むねなり）の知られざる先見性を、笑いと音楽で描く！

ラジオ公開生ドラマ第５弾『伊達宗城の憂鬱。そしてハレルヤ！』



南海放送株式会社（愛媛県松山市、代表取締役社長 山内孝雄）は 2026 年 12 月 6 日（日）、
FM 南海放送のオリジナル企画「ラジオ公開生ドラマ」の第 5 弾、
『伊達宗城（むねなり）の憂鬱。そしてハレルヤ！』を本社 1 階テルスターホールから生放送します。

今回の舞台は、幕末の宇和島。主人公は、伊達宇和島藩第 8 代藩主・伊達宗城です。
実は、伊達宗城は日本のマラソンの歴史にも関わる人物。安政元年（1854 年）、藩士たちに
「遠走り（とうばしり）」を命じていました。これは、後に日本のマラソン発祥とされる安中藩の
取り組みよりも 1 年早いもの。宗城がその成功を安中藩主に伝えた手紙も残されています。
「幕末の四賢公」と称された伊達宗城の頭の中には、富国強兵に向けたさまざまなアイデアが
浮かびます。黒船を独自に造ろうと長州から招かれた村田蔵六と、オランダおいねの恋模様も絡み、
物語は思わぬ方向へ！

全編コメディータッチで描く幕末の宇和島を、女性講談師の語りにのせて展開します。
さらに、劇中の音楽にはローリング・ストーンズの楽曲を使用。
そして、2025 年にニューヨークで開催された全米最大のゴスペル大会で優勝、松山市で活動する
本村洋子 with ALL LOVE CHOIR による生のゴスペルパフォーマンスも登場します。

ラジオドラマなのか、講談なのか、それともゴスペルライブなのか――。
ジャンルを超えたエンターテインメントを、観客の目の前で繰り広げます。

前回の『風の男 BUZAEMON』のテレビ版は TVer で 10 万回を超える再生を記録。今回もテレビ版を
制作して放送。TVer でも配信します。

私たちは、愛媛主義 南海放送

〒790−8510 愛媛県松山市本町 1−1−1

【開催概要】

番組タイトル　『伊達宗城の憂鬱。そしてハレルヤ！』

ラジオ公開生放送　日時：2026 年 12 月 6 日（日）18:00～20:00
会場：南海放送テルスターホール

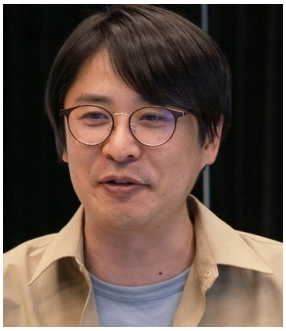
テレビ放送　日時：2026 年 12 月 30 日（水）24:59～

【主な出演者】

伊達宗城	桝形浩人
家老・松根	山田裕二
女中・英	青野悦子
村田蔵六	山本清文
オランダおいね	高野真子
マラソン解説者	土佐礼子
マラソン実況	江刺伯洋
女講談師	平野和子

ほか、総勢 21 人


桝形浩人


山本清文


土佐礼子

ゴスペル・パフォーマンス
本村洋子 with ALL LOVE CHOIR



作・構成・演出：田中和彦（南海放送最高顧問）



【この件に関するお問い合わせ】
南海放送株式会社　新時代 FM 推進局　松下和明　E-mail matsushita@rnb.co.jp　TEL 089-915-3825